

2025年 新年のあいさつ

新年あけましておめで
とうございます。謹んで
新春のお祝いを申し上げ
ますとともに、町民の皆
さまにおかれましては、
新春を健やかにお迎えの
こととお慶び申し上げま
す。

さて、昨年を振り返り
ますと、ロシアのウクラ
イナ侵攻、イスラエルと
パレスチナの軍事衝突が
依然続いています。その
ような中、日本被団協に
ノーベル平和賞が授与さ
れ、改めて平和の大切さ、
重みに心を動かされたこ
ろです。

国内に目を転じれば、

日野町長

塔田 淳一



円安、物価高騰、頻発す
る災害など、私たちを取
り巻く環境は、一層厳し
いものになっています。

本町においても、コロナ
禍からの復興・再生、結
婚から子育て、教育への
切れ目のない支援、医療・
介護・福祉など多様なニ
ーズに対する重層的支援体
制の確立、人口減少対策、
地域経済の活性化、防災・
減災対策、デジタル・脱
炭素社会の実現など、検
討しなければならない課
題が山積しています。

なかでも「人口減少対
策」については、昨年4
月に公表された人口戦略

会議の「自治体持続可
能性分析レポート」で
は、「2014年に行われ
た同様の分析に比べると
【消滅可能性自治体】は
152少なくなったもの
の、実態として少子化の
基調は全く変わっておら
ず、楽観視できる状況に
はない」と分析していま
す。

そして「人口減少とい
う事態を一人一人が自分
事として認識し、社会経
済全般の改革を進め、結
婚や子どもを持つことを
希望する人がその希望を
実現できる社会を目指さ
なければならない」と示

されており、県内で8つ
を数える消滅可能性自治
体の一つとして、非常に
深刻な課題と捉えていま
す。

そのような中であつて、
昨年10月1日、内閣総理
大臣に石破茂代議士が就
任されました。

私の古い手帳には、初
代地方創生担当大臣を務
められた際に掲げられた
「地方創生5原則」即ち「自
立性」「将来性」「地域性」
「直接性」「結果重視」の
文言を書き留めています。

総理大臣となられた今、
自ら本部長を務められる
「新しい地方経済・生活環

2024 年まちのできごと

▼昨年のまちの動きを「広報ひの」の記事から振り返ります

【1月】 1日=金持神社初もうで。12日=ひのっこ保育所もちつき。18日=日野高校生に町から感謝状。28日=鍊守会館空手寒げいこ。

【2月】 2日=オシドリフォトコン表彰式。3日=菅福地区伝統行事「ホトホト」。7日=日野学園6年生議会。18日=ソフトテニス講習会 in 日野町。29日=日野町リノベーション Lab シンポジウム、町観光協会が寄附金を贈呈。

【3月】 3日=金持テラスひので福よせ雛展示。8日=日野学園卒業式。17日=小説『火口に立つ。』出版記念フォーラム。25日=ふるさと大賞 2023、地域貢献賞に黒坂フェスタの会、スポーツ文化功労賞に長谷部正人さん（黒坂）が受賞。

【4月】 7日=日野町消防団消防出初式。6～29日=滝山公園つつじまつり。7日=花まつりマルシェ。9日=日野学園入学式。14日=春のノルディックウォーキング。29日=宝仏山登山道開き。春の叙勲、小谷博徳さん（上菅）に旭日双光章。

【5月】 9日=日野学園生と日野高校生の田植え交流。11日=青パイヤ定植ワークショップ。15日=JA 朝市記念餅つき大会。24日=ひのっこ保育所園児がアユを放流。

【6月】 1日=サロンコンサート「TAIJI & RUKA ふたりのコンサート」。2日=黒坂フェスタ「1日だけの復活！黒坂商店街」。4日=ひのっこ保育所と津地自治会がサツマイモ植え交流。9日=鶴の池マラソン大会。12日=日野学園マラソン大会。14日=ホテル観察会&ナイトウォーク。26日=ふるさと納税返礼品「JR 根雨駅一日駅員体験」。30日=小さな拠点高宮の郷「小さな音楽祭」。

【7月】 7日=鳥取県消防ポンプ操法大会で日野町消防団第1分団が優勝、海鮮・山鮮盛夏まげなもん祭。20日=ねう祭り。21日=日野川合唱フェスティバル。26日=ひのっこ保育所でアユのつかみ取り。

【8月】 3日=星空観望会宇宙探検。12日=黒坂納涼まつり、灯籠まつり・お盆ふれあい夜市。15日=日野町二十歳の集い。

【9月】 8日=文吾劇団「笑劇座」公演。11日=敬老記念品の贈呈。12日=日野学園生と日野高校生が稲刈り交流。28日=日野町駅伝競走大会。29日=えんにち祭り・1日だけの黒坂動物園。

【10月】 6日=全町一斉防災訓練。13日=菅福小さな花火大会。14日=日野町ニュースポーツ大会。15日=ひのっこ保育所と津地自治会がサツマイモ掘り交流。20・21日=ねんりんピックはばたけ鳥取 2024「ソフトテニス交流大会」。25～27日=生きいき”ひの”ふれあいまつり、令和のふいご祭。31日=グラウンドゴルフ親睦交流大会。

【11月】 3日=秋の褒章、上谷春さん（久住）に黄綬褒章。17日=協働シンポジウム「「持続可能」な学びを100年先に伝承する」、ふれあい JA まつり with 海鮮・山鮮まげなもん祭。22日=日野町表彰式、セルプひのが受賞。24日=ソフトテニス講習会 in 日野町。

【12月】 1日=認知症普及啓発映画「オレンジ・ランプ」上映会。5日=福よせ雛感謝祭。8日=日野学園フェス。17日=日野町リノベーション Lab 研究成果報告会。19日=セルプひのが日野学園9年生に絵馬を寄贈、菅福地区自主防災除雪隊結団式、しめ縄づくり親睦交流会。

境創生本部」において「地方の未来を創り、地方を守る」「地方こそ成長の主角」との考えに立ち、地方創生2・0を起動させることは内閣の最重要課題であると力強く述べられ

ました。これらは、石破総理の地方あるいは鳥取県への信頼と激励、共に踏ん張ろうとの決意の表れと信じます。本年の町政の推進にあつては、国、県の支援

を得ながら町民の皆様と力を合わせ、様々な課題にしっかりと取り組み、安心して暮らせる町、住んでよかつたと思える町、未来に引き継げるまちづくりに邁進していきたい

と思います。結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、この1年がすばらしい年となりますことを心から願ひまして、新年のごあいさついたします。